

ふくおかの経済

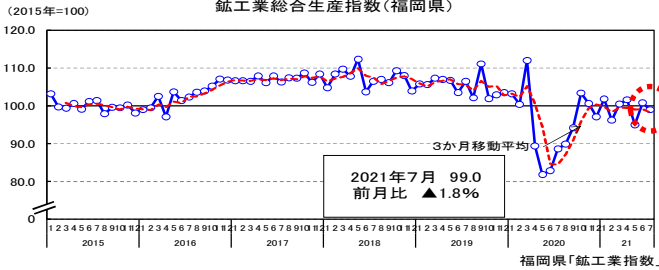
令和3年9月号



生産

このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。

7月の生産指数は、化学工業などの低下により2か月ぶりに前月を下回りました。

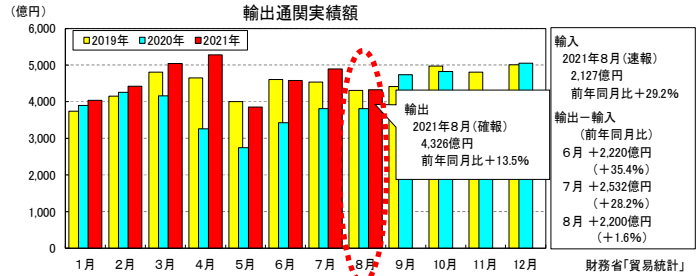


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は、緩やかに増加している。
輸入は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。

8月の輸出は、前年同月比+13.5%と9か月連続で前年を上回りました。

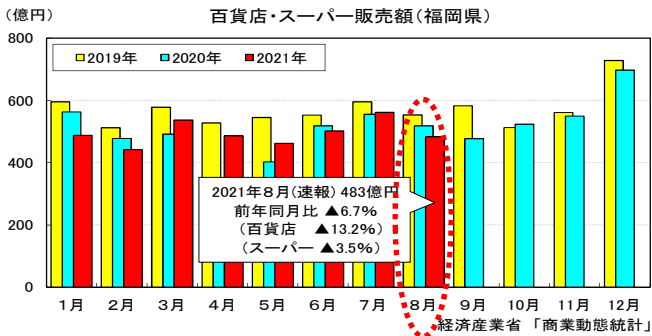


輸入	2021年8月(速報)	2,127億円
	前年同月比	+29.2%
輸出-輸入	(前年同月比)	6月 +2,220億円 (+35.4%)
	7月 +2,532億円 (+28.2%)	
	8月 +2,200億円 (+1.6%)	

消費

弱含んでいる。

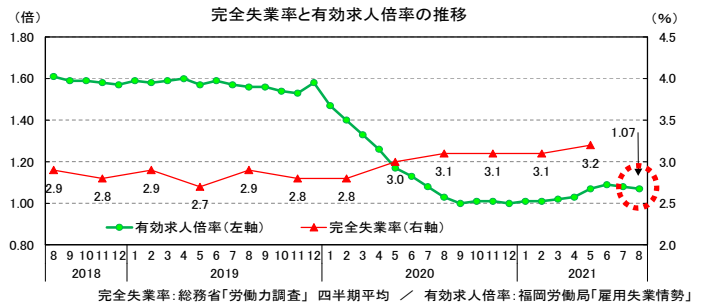
8月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比▲6.7%と2か月ぶりに前年を下回りました。



雇用

求人改善の動きが見られるものの、厳しさがみられる。

8月の有効求人倍率は1.07倍で、前月を0.01ポイント下回りました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。
1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のピックアップ 今後導入が進む!?～週休3日制について～

- 働き方改革の観点等から週休日数を増やす企業の割合が増加しています。週休3日制など、完全週休2日制より休日日数が実質的に多い企業の割合は、2020年で8.3%と、過去最高となりました(図表1)。2001年と比較して約10倍に増えたこととなります。
- 働き手においても週休3日制への期待は高まっています。民間会社が行ったアンケート調査によると、「収入が多少減っても、休日が増えるほうがよい」と回答した人の割合が3割を超えています(図表2)。政府も「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、育児・介護・ボランティアでの活用などの観点から「選択的週休3日制度について企業における導入を促し、普及を図る」としており、今後も企業における週休3日制導入に向けた動きは進んでいくものと思われます。

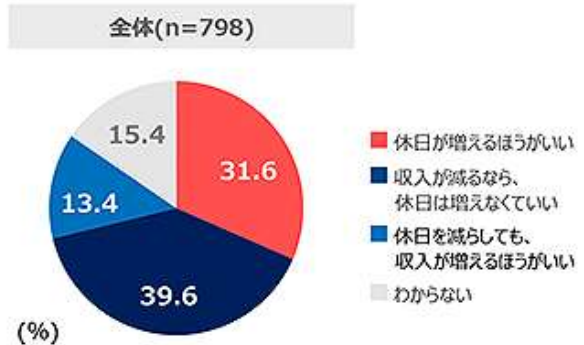
図表1



出所: 厚生労働省「就労条件総合調査」

図表2

収入が多少減っても、休日が増えるほうがよいか(単一回答)



出所: (株)クロス・マーケティングによるオンラインアンケート調査(実施時期: 2021年9月3日(金)～5日(日))